

2020年10月29日

各位

会社名 マクセルホールディングス株式会社
 代表者名 取締役社長 中村 啓次
 (コード番号: 6810 東証第一部)
 問合せ先 経営戦略部
 (TEL. 03-5715-7061)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、本日公表の2021年3月期第2四半期の業績及び2021年3月期において実施予定の事業改革に伴う影響等を勘案し、2020年5月13日に公表した2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の通期連結業績予想を以下のとおり修正しましたのでお知らせします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 140,000	百万円 500	百万円 200	円 銭 4.04
今回修正予想(B)	133,000	1,500	△3,400	△68.74
増減額(B-A)	△7,000	1,000	△3,600	-
増減率(%)	△5.0	200.0	-	-
(参考)前期実績 (2020年3月期)	145,041	△137	△10,487	△205.23

2. 修正の理由

2020年5月13日付「2020年3月期決算短信[日本基準](連結)」において公表の前回発表予想については、2020年3月期第4四半期以降の新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が、当2021年3月期第2四半期まで継続するとの前提で算出していました。

本日付「2021年3月期第2四半期決算短信[日本基準](連結)」にて公表のとおり、新型コロナウイルス感染症の拡大による売上高への影響は継続していますが、利益面の影響を最小限に留めるべく、各事業部門において固定費削減を中心とした原価低減策を推進したことに加え、好調に推移した事業の収益改善効果もあり、2021年3月期第2四半期の営業利益については前回発表予想を上回る進捗となりました。また、第3四半期以降においても同様の施策を引き続き推進していきます。

一方で、親会社株主に帰属する当期純利益については、2021年3月期第2四半期において損失を計上したことに加え、本日公表の「早期退職支援制度の実施に関するお知らせ」、「会社分割（簡易吸収分割）による事業承継に関するお知らせ（健康家電事業の一部）」、「会社分割（簡易吸収分割）による事業承継に関するお知らせ（積層ラミネート型リチウムイオン電池事業）」のとおり、人員規模の適正化による経営基盤・収益力の強化や事業ポートフォリオの見直しを図ることとしており、第3四半期以降でこれらの施策に伴う親会社株主に帰属する当期純利益への影響が見込まれます。

上記を踏まえ、2021年3月期通期業績予想について、主に営業利益を上方修正するとともに、親会社株主に帰属する当期純利益を下方修正することとしたものです。

新型コロナウイルス感染症の今後の影響や事業改革の推進に伴う影響など、現時点で正確な見積もりが困難な状況となっておりますが、今後、通期業績予想に影響を与える新たな事象が発生した場合は、直ちに公表する予定です。

【通期セグメント別業績予想】

単位：百万円

	売上高		営業利益	
	今回予想	前回予想	今回予想	前回予想
エネルギー	36,000	33,000	2,300	600
産業用部材料	49,000	55,000	0	500
電器・コンシューマー	48,000	52,000	△800	△600
合計	133,000	140,000	1,500	500

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上